



## コンタクトセンター・アワード 2026

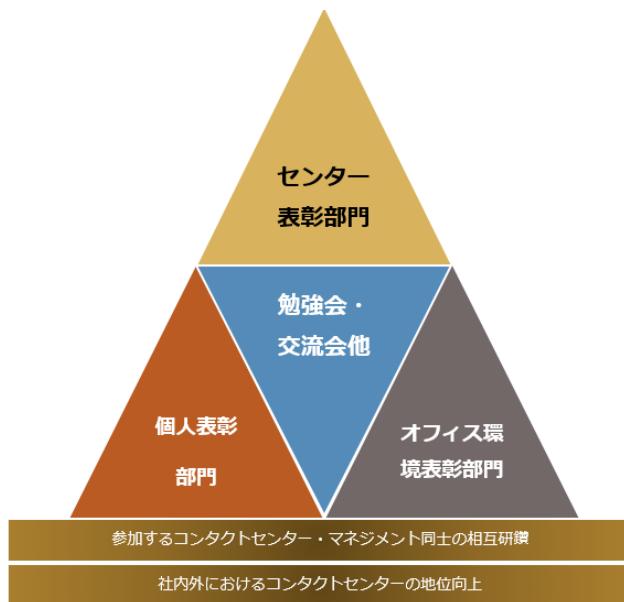
### 表彰部門 概要紹介

#### 1. コンタクトセンター・アワードとは

コンタクトセンター・アワードは、顧客応対の専門組織である“コンタクトセンター”に携わるセンターマネジメントの方々の相互研鑽と、顧客応対の重要性と経営貢献にフォーカスした意義にスポットライトを当てる制度です。暦年の表彰制度として 2004 年に創設され、2026 年に 23 年目を迎えます。

「学び」「磨き」「競い」「喜ぶ」をキーワードに、「センター表彰部門」「個人表彰部門」「オフィス環境表彰部門」の 3 部門の表彰制度を運営すると同時に、セミナー、勉強会、センター視察等により学びを深める場を提供しています。

コンタクトセンター業界の最大の出版社であるリックテレコム 月刊「コールセンタージャパン」が主催、業界のコンサルティング会社であるイー・パートナーズが協賛として運営しています。



#### 2. センター表彰部門

チームあるいはセンターの組織としての取り組みと成果を発表し評価する表彰制度です。

過去 22 年の 490 社、累計応募数 589 申請の英知が集積しています。

どのようなセンターでも業種、業態、規模、運営年数に関わらず参加することができます。

参加者は過去 22 年間の申請資料を閲覧することができます。

当該年度の参加者は 1 次審査会で自ら発表すると同時に参加各社全ての申請発表を聴講することができます。

参加者同士で投票を行い、得票上位の申請は受賞の栄誉に浴します。

部門賞受賞者は最終審査会で審査員による“最優秀部門賞”を競います。

受賞申請はコールセンタージャパン誌特集記事に掲載され、受賞記念講演(未定)での講演の機会がありま

す。

## 2-1. 申請・審査部門

参加企業は下記4部門のどれかに申請登録する必要があります。

- オペレーション部門： 運用面での施策と成果を発表し審査を仰ぐ申請
- ピープル部門： 人材面での施策と成果を発表し審査を仰ぐ申請
- ストラテジー部門： 戦略面での施策と成果を発表し審査を仰ぐ申請
- テクノロジー部門： テクノロジーの利活用に関する施策と成果を発表し審査を仰ぐ申請

受賞できるかどうかは当該年度の参加者の共感やアピールのインパクトによって投票得票上位であることをご理解ください。参加者が受賞者を選ぶオープンアワードなのです。

※ 従って得票上位の申請がなければ部門賞受賞なし、ということもあります。

※ 逆に複数社の部門賞受賞企業が出ることもあります。

上記以外の審査

審査員選考：参加企業の相互投票での受賞申請以外の申請から審査員が選ぶ特別賞を設けています。

## 2-2. 申請・審査日程

- 申込応募期間： 2月2日(月)～5月11日(月)
  - 申請書類提出期間： 5月12日(土)～6月4日(木)
  - 1次審査会(会場審査)： 7月10日(金) @東京・池袋サンシャインシティ カンファレンスセンター
  - 当年度申請資料の閲覧： 6月12日(金)～10月31日(土)
  - 参加者投票： 7月10日(火)～7月29日(水)
  - 参加者間コメント送付・閲覧期間： 7月10日(火)～7月29日(水)
  - ファイナリスト(部門賞受賞者)選考通知： 8月5日(水)
  - 最終審査発表会(会場審査)/表彰式： 9月16日(水) @東京・両国 KFCホール
  - 審査員コメントフィードバック： 10月9日(金)
  - アーカイブ閲覧終了： 10月31日(土)
- ※ 上記日程は変更の可能性があります。Webの告知情報を確認してください。
- ※ 1次審査会、最終審査会ともに会場審査です。オンライン参加・配信は致しません。

## 2-3. エントリー相談会

参加に不安がある方、具体的な質問・相談をお持ちの方のために有料で1時間の相談ができる場を設けています。参加するに際しての申請内容やシナリオの相談等審査員が承ります。

- 相談会申込期間： 2月2日(月)～2月27日(金)



- 相談会開催日： 4月9日(木)
- 相談会枠数： 限定6社

#### 2-4. 参加料金と付隨する特典

参加のためには Web 記載の参加料を申し受けます。

通常料金、早割料金、エントリー相談会参加料金等記載の通りです。

Web のマイページから申し込みをされると請求書がダウンロードできます。記載の払込期日までにお振込みをお願いします。

それぞれの料金(エントリー相談会参加を除く)には 1 次審査会、最終審査会への無料参加枠が設定されています。枠を超えての参加申込には別途追加参加料を申し受けます。

※ 審査会の参加人数枠とは別に広報・カメラマンは申請により入場可能です。

#### 2-5. 他社申請の閲覧

相互に学び合うことができるのが本アワードの特徴です。

参加すれば英知の蓄積である過去申請も含め、1 次審査会への提出申請資料を閲覧することができます。

当該年度参加者の申請資料： 6月12日(金)～10月31日(土)

過去参加の申請資料（公開同意済申請のアーカイブ 500 申請超）：

参加料金支払い後～10月31日(土)

※ 申請内容の変遷や傾向等は過去申請を閲覧頂くことでご理解頂けます。

※ 資料の作成方法、表現方法等も過去申請資料を閲覧頂くことでご理解頂けます。

※ 過去申請の企業名・申請タイトル、受賞カテゴリーは一覧でご覧頂けます。

「ライブラリー」にてリストをダウンロード可能です。

#### 2-6. 申請資料の作成

「センター表彰応募要領 2026」を参照ください。

詳細な申請資料（ppt, pdf, 紹介動画）の作り方をご覧頂けます。

#### 2-7. 申請責任者の役割

申請の窓口となる申請責任者(申請する方)は、以降のあらゆる事務局との連絡窓口となります。

全ての連絡・確認はメールとなりますので、メールへのアクセス、web へのアクセス（アップロードやダウンロード含む）を可能とする方をお選びください。

申請責任者の方は、社内の関係者、役割代替者を含めグループ登録をされることをお勧めします。



### 3. 個人表彰部門

コンタクトセンターに関するマネジメント層の資質・能力・実績等を評価する表彰制度です。

“人”が資産のコンタクトセンターにおいて、このセンターにこの人あり、と“人”にスポットライトを当てるものです。

コンタクトセンターに関する 1 年以上の勤務経験を経ていれば業種・業態・規模に関わらず参加することができます。

自薦・他薦のいずれでも応募できます。

1 次審査は審査員による書類審査となり、選考された応募者とは 2 次審査の面接が行われ、その結果受賞者が決定されます。

受賞者は表彰式でトロフィーが授与され、web 上での受賞告知と後日コールセンタージャパン誌での特集記事で人物紹介されます。

#### 3-1. 申請・審査部門

応募者個人の職務（ポジション）により、上位マネジメントは「マネジメント・オブ・ザ・イヤー（Management of the Year）」審査部門にて、下位マネジメントは「リーダー・オブ・ザ・イヤー（Leader of the Year）」審査部門にて審査します。

マネジメント・オブ・ザ・イヤー（MOY）,リーダー・オブ・ザ・イヤー（LOY）それぞれの応募資格については個人表彰制度審査ガイドラインを参照ください。

- ※ 同一企業/センターからの応募人数に制限はありません。
- ※ 同一人物の両部門への応募はできません。
- ※ 同一人物の複数年応募は可能です。
- ※ 同一のセンター内呼称の応募者の両部門への応募はできません。（SV の Aさんは MOY に、別の SV の Bさんは LOY にといった応募はできません）
- ※ 候補者の雇用契約（有期、無期、派遣、業務委託、正社員等）の形態は問いません。
- ※ クライアント企業によるアウトソース企業所属の候補者の推薦も可能です。

#### 3-2. 申請・審査日程

- 申込応募期間： 4月 6 日(月)～5月 29 日(金)
- 申請書類提出期間： 5月 30 日(土)～6月 15 日(月)
- 1 次審査(書類審査)選考通知：6月 30 日(火)
- 2 次審査(オンライン面接)： 7月 7 日(火)8 日(水)（日時は別途応募者に通知します）
- 2 次審査(オンライン面接審査)選考通知(受賞通知)：7月 31 日(金)

- 審査員コメントフィードバック： 8月18日(火)
  - 表彰式： 9月16日(水) @東京・両国 KFCホール
- ※ 上記日程は変更の可能性があります。Web の告知情報を確認してください。

### 3-3. 参加料金と付随する特典

参加のためには Web 記載の参加料を申し受けます。

参加料金等記載の通りです。

Web のマイページから申し込みをされると請求書がダウンロードできます。記載の払込期日までにお振込みをお願いします。

参加料金には最終審査会への応募者本人に加えて 1 名の無料参加枠が設定されています。枠を超えての参加申込には別途追加参加料を申し受けます。

※ 審査会の参加人数枠とは別に広報・カメラマンは申請により入場可能です。

### 3-4. 申請資料の作成

「個人表彰制度審査ガイドライン 2026」を参照ください。

詳細な申請資料 (ppt,pdf,紹介動画) の作り方をご覧頂けます。

### 3-5. 申請責任者の役割

申請の窓口となる申請責任者(申請する方)は、以降のあらゆる事務局との連絡窓口となります。

全ての連絡・確認はメールとなりますので、メールへのアクセス、web へのアクセス（アップロードやダウンロード含む）を可能とする方をお選びください。

申請責任者は、社内の取りまとめ窓口の方でも推薦人、あるいは候補者本人でも構いません。メールでの円滑なやりとりができる方を選定下さい。

以上